

令和5年度 第3回 食育推進会議 議事録

| | | |
|------|------------------------|---|
| 開催日時 | 令和6年2月1日(木曜日)午後3時30分～ | |
| 開催場所 | 東京エレクトロンホール宮城 401 中会議室 | |
| 名簿 | 委員 | 白川愛子、神田あづさ、小野恵、小山田陽奈、片倉成子、加藤房子、木村由希、佐藤将人、武田芳典、平田政嗣、古林史子、大和一美、加藤邦治、白山幸喜、柳津英敬、渋谷智彦（福田洋之教育長代理） 【欠席委員：柴崎崇、二階堂善一、福田洋之】 (敬称略) |
| | 事務局 | 川口健康福祉局次長(保健衛生部担当)、小椋保健衛生部長、佐野健康政策課長、飯間健康政策課主幹兼健康増進係長(司会進行)、オブザーバー 筒井幸子環境局理事(脱炭素都市推進担当) |

| 発言者等 | 発言内容 |
|------|---|
| 進行 | <p><1. 開会></p> <p>それでは、開始より少し早いですが、若干遅れてくる委員以外の皆様は集合しておりますので、ただいまより令和5年度第3回仙台市食育推進会議を開催いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>はじめに、本会議を代表いたしまして、白川会長よりご挨拶をちょうだいしたいと存じます。</p> <p>白川会長よろしくお願います。</p> |
| 白川会長 | <p><会長挨拶></p> <p>宮城大学の白川でございます。本日はどうぞよろしくお願いたします。着座にて失礼いたします。</p> <p>本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>新しい年を迎えてすぐに能登半島沖地震が起きまして、本日でちょうど1ヶ月がたち、はじめにお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災地の皆様が1日も早く平穏な日常を取り戻すことができますよう、お祈り申し上げます。</p> <p>さて、仙台市食育推進計画第3期中間案におきましては、SDGsの持続可能な新たな視点が加えられておりますが、SDGsでは「持続可能な」という言葉のほかに、「強靱性」という強いことを意味する難しい言葉、「レジリエンス」という言葉がキーワードとしてよく出てまいります。これは、例えば、コンクリートのように硬い強さではなく、しなやかな強さのことであり、語源としましては、物がはね返る、弾力があるという意味で、人であれば、病気からの回復や逆境から立ち上がること、ストレスに対する適応力が高いことなどを意味し、また、環境やシステムの問題、あるいは自然災害からの速やかな回復・復旧を意味します。</p> <p>「仙台市防災枠組」という国際的な目標の中でも挙げられておりますが、地震が多い日本ではSDGsの観点から、災害に対する「もろさ」、すなわち脆弱性を予防し、災害への「強靱性」すなわちレジリエンスに焦点をあてて、</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>“誰1人取り残さない”防災・減災のあり方が、今後なお一層求められるところでございます。私たちも、改めて防災・減災について身近なところから、また、食育の視点からも考えて取り組んでいく必要があるかと思えます。</p> <p>今年度3回目となる今回の会議では、11月から12月に行われた第3期中間案についての、市民の皆様からのパブリックコメント、いわゆるパブコメの結果を踏まえまして、委員の皆様からのご意見を頂戴し、第3期計画の確定に向けて進めてまいりたいと思えます。また、食育推進実施状況についても情報共有を図ってまいります。</p> <p>なお、本会議委員の委嘱期間が令和6年6月で満了となりますので、現メンバーでの会議は今回が最後となります。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> |
| 進行 | <p><委員紹介></p> <p>白川会長ありがとうございました。</p> <p>続いて、本日出席いただいている委員等の皆様、また、事務局側の本市職員につきましては、お手元の名簿をご覧くださいませよう願いたいします。</p> |
| 進行 | <p><会議成立報告></p> <p>ここで議事に先立ちまして、本日の会議の成立についてお知らせいたします。</p> <p>本日は、柴崎委員、二階堂委員がご欠席、加藤邦治委員が遅れて出席する旨のご連絡をいただいております。本日は15名の委員にご出席いただき、過半数の出席となっておりますので、仙台市食育推進会議条例第7条の規定により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> |
| 進行 | <p>続きまして、本日の資料の確認をお願いいたします。お手元の次第をご覧ください。</p> <p>まず、事前に配付しておりました資料の確認からいきます。</p> <p>資料1「仙台市食育推進計画第3期中間案に関する意見募集の結果について」</p> <p>資料2「仙台市食育推進計画第3期最終案における主な変更点」</p> <p>資料3「仙台市食育推進計画第3期最終案」</p> <p>資料4「令和5年度食育推進事業実施状況（令和5年11月末現在）」</p> <p>資料5「仙台市食育推進ロゴマーク令和5年度活用状況」</p> <p>資料6「令和5年度市政だよりせんだいレシピ帖連載の取り組みについて」</p> <p>また、当日配付といたしまして、</p> <p>別紙1「仙台市食育推進計画第3期最終案に係る意見シート」</p> <p>その他、本日次第には記載していませんが、</p> <p>「仙台市食育推進会議 会議資料正誤表」</p> <p>「仙台市食育推進会議 会議資料当日差し替え」</p> <p>続きまして、本日、佐藤委員からご提供いただきました、「2023年度SUGAR事業報告 食育推進の取り組み」A4カラーの資料を配付しております。もう一つ、小山田委員からご提供いただきました「大人のための食育プロジェクト」A4カラーのリーフレットも配付しております。</p> <p>資料について、不足はございませんでしょうか。</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>ご確認ありがとうございます。</p> <p>議事に入る前ですが、本日マイクが3台しかございません。お手間をお掛けしますが、マイクの受け渡しにご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、これからの進行につきましては、会長にお願いしたいと存じます。白川会長よろしく申し上げます。</p> |
| 白川会長 | <p>それでは委員の皆様、よろしく申し上げます。</p> <p>議題に移ります前に、議運議事録署名につきましてこちらから指名させていただきます。</p> <p>本日の議事録署名は、佐藤委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> |
| 佐藤委員 | <p>よろしく申し上げます。</p> |
| 白川会長 | <p><2. 議事></p> <p>それでは議事に移ります。</p> <p>議事 (1) 仙台市食育推進計画第3期中間案に関する意見募集の結果についてでございます。第2回食育推進会議で中間案についてご協議いただきましたが、さらに11月から12月にかけてパブリックコメントということで、市民の方々からご意見をいただきました。このご意見を受け、本日、最終案としてご提案いただいておりますので、協議して参りたいと思います。それでは、意見募集の結果について、事務局からご説明いただきます。</p> |
| 事務局 (佐野課長) | <p>はい。健康政策課の佐野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは中間案に関する意見募集の結果につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>資料1「仙台市食育推進計画第3期中間案に関する意見募集の結果について」をご覧ください。昨年11月27日から12月26日までに中間案に関する意見募集を行いました。個人2名と2つの団体より、計11件のご意見をいただきました。市民の皆様のご意見を拝見しまして、食育推進計画に関する関心の高さを事務局としても受けとめております。内訳としましては、「第5章 目指す姿の実現に向けた取り組みに関する意見」が7件と多くなっております。</p> <p>2ページ目をご覧ください。いただいたご意見に対する意見の詳細と本市の考え方について記載しております。社会・経済環境の変化による子供や高齢者の栄養摂取状況等の健康に関するご意見など、様々な貴重なご意見をいただいておりますが、この中で計画へ反映したものは、No.4、No.8、No.9になっております。</p> <p>No.4は農薬、化学肥料の使用が少ない食品に関する事、No.8はSNS等デジタル技術を活用した食育に関する事、そしてNo.9はフードドライブに関する事になります。具体的な反映内容につきましては、この後の議題2にて併せてご説明させていただきます。なお、今回いただいたご意見と本市の考え方につきましては、後日ホームページ等で公表を予定しております。私からは以上になります。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p> |

| | |
|---------------|--|
| | か。 |
| 加藤房子委員 | <p>宮城県生協連の加藤でございます。</p> <p>質問2つと意見1つがございます。</p> <p>11番の意見に対する仙台市の考え方について、2段落目の「民間事業者サービスの一覧表を仙台市ホームページに掲載しております」ということについて、掲載がホームページのみなのか、という質問です。次に、その下の4段落目、「食事の準備が困難な高齢者を対象とした配食サービスを掲載予定」とありますが、食事の準備が困難な高齢者というのは、どのような方法で把握するのかということをお尋ねします。</p> <p>なぜホームページだけなのかという質問をしたかと言いますと、最近のご高齢の方であってもスマホがだいぶ普及していて、ネットを見る人も増えていると思いますが、一般的には多くの方がネットで検索して見つけられるとは思えないのです。生協の宅配の例で申しますと、ご高齢のご両親のためにお子さんが生協の宅配注文し、それをご両親の自宅に届けるということを行っています。本人がネットで注文したりというのは難しいので、高齢の方がホームページを直接見るというのは難しいのかなと思っております。可能であればホームページ以外でご高齢の方が立ち寄る場所に、この民間事業者サービスの一覧が紙媒体で見られるとか、仙台市の配付物の中にたまに入れるとか、そういうことも検討していただきたいという意見でございます。</p> <p>以上です。</p> |
| 白川会長 | この点につきまして事務局からいかがでございましょうか。 |
| 事務局 (佐野課長) | <p>はい。ご意見ありがとうございます。</p> <p>買い物支援に関する民間事業者のサービスの一覧につきましては、関連する局で掲載しておるものでございまして、こちらの資料をどのように活用しているかというところにつきましては、後ほどお調べしてお伝えいたします。</p> <p>現在、高齢者保健福祉計画というものも策定中でございまして、食事の配食サービスなども計画の中に含んでおります。仙台市としては、様々な計画と連携して、市民の皆様にご不便のないよう、健康を保持するということで、買い物についても合わせてサービス提供していければよいと考えておりました。</p> |
| 白川会長 | もう1点質問がありました。下から3行目の「食事の準備が困難な高齢者の把握」をどのようにしていくか、という点についてはいかがでしょうか。 |
| 事務局 (佐野課長) | 宅配サービスについては、ご家族やご本人からの申請に基づいて、サービスを実施しているものでございます。地域包括支援センターや地域支援の中で対象の方が上がってきたときに、お勧めするというところで把握を行っているところでございます。 |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>他にご意見ご質問等ございますでしょうか。後ほどでも構いませんのでまた質問等していただければと思います。</p> |
| 白川会長 | <p>それでは次の議題に移ります。</p> <p>議事(2) 仙台市食育推進計画第3期最終案についてでございます。まず事務局から最終案についてご説明をお願いいたします。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>事務局 (佐野課長)</p> | <p>はい。それでは最終案につきまして中間案からの変更内容をご説明させていただきます。</p> <p>資料2「仙台市食育推進計画第3期最終案における主な変更点」と、資料3「仙台市食育推進計画第3期最終案」をお手元にご準備ください。また本日差し替えしました資料もご説明させていただきます。</p> <p>資料2を中心にご説明させていただきます。まずNo.1についてでございますが、本日差し替えた資料がございますので、資料3より抜粋というA4・1枚のものをご覧いただければと存じます。</p> <p>こちらについては、食育という用語について説明する部分になります。現在の事前にご送付しておりました計画の最終案につきましては、食育という部分について、より詳しく記載した方がいいということで、食育基本法と現計画を改めて確認し、書きぶりを統一するために修正しております。「食育は様々な経験を」というところから、追加しておりますのでご確認をお願いいたします。</p> <p>次にNo.2でございます。最終案の2ページをお開きください。中ほどに【コラム】「食育とSDGs」を追加いたしました。第3期計画は骨子案時点より食育とSDGsとの関係を打ち出しておりますが、基本的事項や具体的にSDGsのどの目標と関連が深いかなどを説明しております。</p> <p>次にNo.3ですが、6ページをご覧ください。【コラム】「主食・主菜・副菜をそろえた食事」を追加いたしました。主食・主菜・副菜については、計画の目標値としても、バランスのよい食事をとっている人の増加として設定しておりますが、そもそもバランスのよい食ということがどういうものか、あまり認知されていないのではないかという意見がございまして、反映させました。</p> <p>No.4から7につきましては、最終案11から12ページの目指す姿についての変更になります。</p> <p>まずNo.4、目指す姿【1/健康-全体】について、デジタル化の視点を取り入れるため、「健康管理にICTを活用している」を追加しました。</p> <p>次にNo.5、12ページ目指す姿【3/環境-全体】について、右側の一つ目の黒丸です。食と環境との関係について、広く視点を持つことが大事であることから、「食と環境との関係について関心を持っている」を追加しました。</p> <p>No.6、目指す姿【3-3/環境-環境負荷低減】について、「農薬、化学肥料の使用が少ない食品に関心を持っている」から「農薬、化学肥料の使用が少ない食品に関心を持ち、理解している」に変更しました。パブリックコメントにおいてご意見があったものを参考に、「関心を持っている」から「関心を持ち、理解している」とし、より深く知るような書きぶりに変更いたしました。</p> <p>No.7、【コラム】「食育と歯と口の健康」「和食について」「食と脱炭素」を追加しました。今回、食育推進計画に新規に取り入れた歯科保健分野、指標としても設定している和食、そして柱としても掲げている脱炭素について説明しております。</p> <p>No.8、9につきましては、20ページの期待される役割の項目の変更になります。</p> <p>No.8、期待される家庭の役割について、単身世帯の書きぶりだったもの</p> |
|-----------------------|---|

| | |
|------|--|
| | <p>を、単身世帯に限った内容ではないというご意見をいただきまして、近年の家庭に関する共通の課題であるということで、表記の通り変更いたしました。</p> <p>No.9、(2) 保育所/学校等の役割のうち学校の説明について、栄養教諭について記載した方がよいというこちらの会議でのご意見を反映させて、栄養教諭について追記しております。</p> <p>No. 10 から 18 につきましては、具体的な取り組みに関する変更になります。</p> <p>No. 10、21 ページの家庭の取り組みの環境分野についてでございます。一番下の行に記載しておりますが、「農薬や化学肥料、有機農産物について学ぶ」から「農薬や化学肥料有機農産物について学び、知識を活用する」へ変更しました。No. 6 の変更と同様、パブリックコメント等を反映させたものです。</p> <p>次にNo.11、22 ページの(2) 保育所・学校等での取り組みの食育全体になります。上から3つ目になりますが、給食時間における学級担任等による給食指導について、栄養教諭を追加しました。</p> <p>No.12、23 ページの(3) 関係団体の取り組みに、食文化・環境分野になりますけれども、第2回食育推進会議でご意見をいただきました内容を踏まえまして、エシカル消費の推進を追加しております。</p> <p>No. 13、24 ページの関係団体の取り組みの環境分野になります。一番下の行にフードドライブの実施を追加しました。こちらにも、パブリックコメントにおいて取り組みの記載についてご意見いただいたものを反映させたものになります。</p> <p>No.14、同じく、24 ページに【コラム】「エシカル消費について」を追記しました。こちらは基本的事項の説明として記載しております。</p> <p>No.15、25 ページになります。(4) 行政の取り組み-食育全体の上から5行目になりますが、災害に備えたローリングストック等の食料備蓄の普及啓発を追加しました。第2回食育推進会議でご意見いただいた内容を反映させたものになります。</p> <p>No.16、同じく25 ページ(4) 行政の取り組みの健康普及啓発の下から2番目になります。パブリックコメントでいただいたご意見を踏まえ、YouTube 等による啓発も実施していることから追記いたしました。</p> <p>No.17、26 ページに食文化・環境分野について「エシカル消費に関する情報発信、啓発」を追加しました。</p> <p>No.18、同じく26 ページに【コラム】「ソーシャルメディア(SNS等)を活用した情報発信」を追加しました。こちらにもパブリックコメントでいただいたご意見等を踏まえ、SNS等による取り組みを記載したものになります。</p> <p>最後にNo.19、こちらは28 ページになります。参考資料といたしまして、検討経過と会議委員名簿を追加しております。</p> <p>以上、資料2に記載の変更のほか、事務局で確認し、文言や体裁整備等の変更を行っております。</p> <p>私からの説明は以上になります。</p> |
| 白川会長 | ありがとうございました。 |

| | |
|--------|--|
| | <p>それでは、最終案について皆様からご意見、ご質問をいただきたいと存じます。それでは、席順で、まず小野委員からお願いいたします。</p> |
| 小野委員 | <p>小野と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>皆さんからのご意見で大分取り組みやすくなったのではないかと思います。</p> <p>家庭での取り組みは、お仕事の関係もあって限界があると思っています。2ページの保育所学校等での取り組みで、体験の場づくりというのがありますが、やはり見るだけではなく、実際に経験をする取り組みをすることで、食に興味を持てるのかなと思います。ここにも書いてありますが、保育所、こども園、幼稚園など、私たちの役割として、こういう体験の場をどんどん増やしていけるようにしていきたいと思っています。また、家庭での取り組みも進めていけるように、私たちがサポートしていけたらと思います。</p> |
| 片倉委員 | <p>宮城県栄養士会の会長の片倉と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>13ページから目標値が書かれていますが、希望を込めて、お願いでございます。目標値を達成するための事業ということを意識して進めていっていただきたいと思っています。</p> <p>次に、21ページ、行政の取り組みについては、わかりやすく説明をいただいていますけれども、家庭の取り組みという部分では、やはり百人百様の家庭がありますので、それをクリアするための事業実施というのは大変であると思います。どのような関わり方をすれば、それが可能となるのか、事業と結びつけながらご説明いただければ安心できると思いますので、よろしくお願いいいたします。</p> |
| 白川会長 | <p>続きまして、小山田委員、お願いします。</p> |
| 小山田委員 | <p>環境団体 MELON の小山田と申します。</p> <p>行政の皆様、ここまでまとめていただきましてありがとうございました。</p> <p>私たちは環境の側面から食育というところで、この目標に届くように貢献していきたいと思いました。</p> <p>今回リーフレットをお配りしましたが、いろいろなセクターへのアプローチということで、それぞれ役割分担があるかと思いますが、私たちの今回の企画では、大人の食育ということで働き盛りをターゲットとしました。食事のバランスなど、普段あまり考えないという人たちに少しでも気づいてもらえるようにということで、企画をしました。</p> <p>今後も、この計画にも沿った内容を我々の企画にも反映していきたいと思っております。これから仙台市や皆さんとも相談しながら、自分たちの持っている事業に含めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、加藤房子委員、お願いいたします。</p> |
| 加藤房子委員 | <p>宮城県生協連の加藤でございます。</p> <p>まず、第2回食育推進会議での意見と、パブコメの意見をよくまとめられていて、素晴らしいなという感想です。</p> <p>その上で、意見を述べさせていただきたいのですが、21ページの家庭の取り組みのところですが、一番下の環境のところ、7個ほど取り組み事例が書かれていて、この項目7項目はひっくるめるとエシカル消費となります</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>が、この「エシカル」という言葉を、知らない方々がまだまだたくさんいるというのもあるので、もし可能であれば、家庭の取り組みの中の環境のところに、「エシカル消費を知り、実践する」というのをに入れていただくと、コラムの説明にも繋がるかなと思いますので、まず要望です。</p> <p>あともう1点要望ですが、23ページ、24ページの関係団体の取り組みの、食文化と環境のところに、エシカル消費の推進というのがあるのですが、先日私どもの会議で、エシカル消費について、専門の大学の教授をお呼びして講演会をやった際に、私どもの会員生協であるみやぎ生協のお店の売り場の展開について、どの商品がエシカルな商品なのかが売り場で全くわからない、あと宅配事業もやっておりますが、そういった宅配のチラシで、どれがエシカル商品なのか全くわからない、というご指摘を受けました。関係団体すべてがそういう売り場作りをやっているわけではないと思いますが、関係団体の中だけで一生懸命エシカル消費推進ということをやだけではなく、やはり多くの方々に、我が団体、我が企業はエシカル消費を進めてるというのをアピールしていかないと、より広まらないというふうに講演を聞いて思いました。</p> <p>そこでもし可能であれば、エシカル消費の推進とあわせて、PRになるのかどうか、上手い言葉が浮かばないのですが、事業者自体が推進してそれを打ち出しているということ、PRなのかアピールなのか、そこはお考えいただきたいのですが、その部分を付け加えていただきたいことを要望いたします。</p> <p>以上、2点要望いたします。お願いいたします。</p> |
| 白川会長 | <p>要望については後でまとめてでもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、先に進めさせていただきます。続きまして、木村委員、お願いいたします。</p> |
| 木村委員 | <p>先ほど小野委員もおっしゃっていましたが、幼児期の食育は、体の基礎をつくるのでとても重要で、保護者を含め、それから若い先生たちも、みんな取り組んでいかななくてはならないということをつくづく感じます。</p> <p>この計画案は本当に素晴らしいものができているなど感心するのですが、やはり食べるだけではなく、そのあとの歯を磨いて、個々のケアをするということもすごく大事だし、そういうことをすべてひっくるめて、素晴らしい計画になってると思いました。</p> <p>ありがとうございました。</p> |
| 白川会長 | <p>続きまして、佐藤委員、お願いしてよろしいでしょうか。</p> |
| 佐藤委員 | <p>市民公募の佐藤と申します。よろしくようお願いいたします。</p> <p>内容を拝見させていただきました。ここまで取りまとめていただき、内容が充実したものにさせていただいてありがとうございます。</p> <p>私からも1点だけ、13ページ以降の目標値について、この内容でぜひ7年計画を進めていただければと思いますが、もし可能でしたらお願いががございます。パブコメでも7年では長いという意見や、前回の会議でも7年が長いという意見があったかと思えます。私は最終目標値の設定が7年後であるのはいいと思うのですが、令和7年度や令和8年度など途中段階で数値を把握するとか、毎年数値が出るのであれば毎年数値を確認するなど、改善の程度を把握することが可能でしたら、そのようにしていただければと思いま</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>す。</p> <p>こういった観点として、「スマート」と言うと思いますが、SMARTの頭文字として「specific（具体的な）」具体性がある、「Measurable（測定可能な）」計測もできて、「achievable（達成可能な）」達成も可能で、「Related（経営目標に関連した）」現実的な内容で、「Time-bound（期限を定める）」の観点でいうと、7年だとPDCAを回すところでおろそかになりがち、と言いますか、ダイエットする人も、最後の令和10年のところで、「急げ」ってなりそうな感じがすると思いましたので、もし可能でしたら、途中で数値の把握をしていく、ということをお願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、武田委員お願いいたします。</p> |
| 武田委員 | <p>取りまとめ大変御苦労様でした。</p> <p>小学校校長会としても、小学校の教員、栄養教諭、そして栄養職員の組織である仙台小学校教育研究会の学校給食部会と連携しながら、ここに示された保育所・学校等での取り組みの推進に向けて尽力していきたいと思いますので、引き続きご協力どうぞよろしくお願いいたします。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、平田委員、お願いいたします。</p> |
| 平田委員 | <p>仙台歯科医師会の平田です。よろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど話がありました「エシカル」とか「レジリエンス」という言葉ですが、こういう難しい言葉というのは、取り方によってはキャッチーなんですよね。だから、難しい言葉をあえて入れておくことで、それに対してどれだけ市民の方々に意識を持ってもらうか、ということで、取り組みのひとつになるのではないかと思います。</p> <p>計画に関してですが、「何を食べるか」と「いかに食べるか」という観点から、歯と口の健康について盛り込んでいただいたことは非常にありがたいと思います。その中で少し気づいた点を説明させていただきたいと思います。</p> <p>まず11ページの推進の柱1の1-3の3番目「よく噛むことの大切さを知り、口の機能に応じた食事を工夫している」という部分、非常にいいことなのですけれども、育成の視点や維持、向上という部分に着目した目標も明記していただけるとありがたいと思いました。歯と口の口腔機能は、手を使って何かを食べ始める、そのぐらいの時から育成していかなければいけないということがあります。機能に応じたということもいいのですが、歯と口の機能に関しては、育成の部分から、そのあと、維持、そして向上という部分にも着目した目標を明記していただけるとありがたいと思いました。</p> <p>あと12ページのコラムですが、食育と歯と口の健康について記載していただいたのは非常にありがたいことだと思いますし、市民の皆様伝わると非常にいいかなと思いました。そのコラムの中で、ちょっと気になったのは、オーラルフレイルの予防という部分をもう少しはっきりと書いてもいいのかなというふうにちょっと思ったところです。赤ちゃんの頃から高齢者までというふうに書いてはいただいているのですが、そこが少し気になったところです。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>あと、18 ページの目指す姿の実現に向けた取り組みで、オーラルフレイルという言葉が出てきてないと指摘をして、高齢期 65 歳以上のところに、オーラルフレイルの予防をしっかりと明記していただいたことはありがたいと思います。ただ、高齢期では、フレイルの状態になった人に対してどのように食育し、取り組んでいくかという記載があってもいいのかなと思ったのと、40 歳から 64 歳の壮年期は、オーラルフレイルという言葉を知ってもらった時期でもあると思うので、壮年期にもオーラルフレイルについて記載していただけると嬉しいかなと思いました。</p> <p>計画としてはすごく練られた内容だと思うので、非常にありがたいと思っています。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、古林委員、お願いいたします。</p> |
| 古林委員 | <p>市民公募から入りました古林と申します。</p> <p>市民の皆さんからのご意見の 4 番のところで、農薬の少ない食品に関心を持つことを、具体的に農薬の使用が少ない食品を食べるという目標につなげてはどうかという意見に、なるほどな、と思いました。食を通して、環境に配慮することは、具体的に言うと食べることで、自分の体に入ってくるという、自分自身に直結したことになるので、そこに関心を持ち、理解し、知識を活用するという、12 ページ、18 ページの一步進んだ表現になったということはあるかなのではないかなというふうに思いました。</p> <p>それと、乳幼児の取り組みのところで、ご意見の 5 番ですが、忙しい親に対して、仙台市の回答では、個別の対象に合わせたアドバイスの充実というふうにされていましたけれど、ここはすごく充実させて欲しいなという部分です。というのは、親としては多分、「今聞きたい」「すぐ答えが欲しい」、そんな思いがあるんじゃないかなと思います。仙台市など公のところからの答えというのは、安心感があるんじゃないかなと思います。仙台市で LINE を使った支援というのもされているようですので、それを生かして、食に関することも含めて、ぜひ続けていただければいいなというふうに思います。</p> <p>あと、コラムがいくつか入りましたが、根拠を示す上でとてもわかりやすいなと思いました。素晴らしい計画、ありがとうございます。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、大和委員、お願いいたします。</p> |
| 大和委員 | <p>仙台市医師会の大和でございます。</p> <p>拝見させていただきまして、非常にすばらしくできあがっているなと思っております。</p> <p>6 ページのメタボリックシンドロームの該当率というところで、仙台市は全国をかなり上回っていて、具体的に何が原因なのかということですが、何なのでしょう。雪国でもないですし、車を持っているっていうのは多分地方都市なんか皆同じ条件で、なぜこの仙台市と宮城県が突出して高く、しかも改善しないのかといったところの解析は多分必要であると思ひまして、もし原因がわかればそこに反映させて、栄養バランス、もちろん大事ですが、仙台市独特の何かがあるのであれば、そういったものをきちんと調べた</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>方がいいのかなと感じました。</p> <p>計画のまとめ、本当お疲れ様でございました。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、神田委員、お願いいたします。</p> |
| 神田委員 | <p>おまとめいただきましてありがとうございます。</p> <p>私は委員としてもですが、仙台市の小学校に通っている子供の母親です。計画の最初に書かれてあるようなことが現実にできたらどんなにいいだろう、またそれをしていこうという、それが素晴らしいと思っております。</p> <p>1月18日に学校給食フェアに行かせていただきました。そこで展示物がありました。食育推進のほとんどができていないかと思われるぐらい、展示物が楽しくて、また給食も子供がわくわくするような、そして、豆というのが食事になかなか入れづらい中でも、美味しく食べるような工夫がしてあったりしました。</p> <p>今回のこの計画ができたことにより、食育推進がより素晴らしいものになっていくんだとすごく期待をしていますし、私個人でもできることがあったら何でもお手伝いしたいと思いました。ありがとうございます。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>皆様それぞれの立場からのご意見をいただきました。後ほど事務局から皆様からのコメントについて、補足があればご説明いただきますが、私から一言だけ申し上げますと、先ほどエシカル消費の推進について加藤委員からお話がありましたが、お店でエシカル消費についてポップなどで説明をしていけば、買い物に来た消費者がその言葉を見てだんだん馴染んでいって、そこから広まっていくのではないかと思いますので、お店や事業者から発信していくことも、一般の方に広まりやすい方法かと思えます。エシカル消費についても、皆様の意識を高めていただきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いします。</p> <p>また、先ほど平田委員からもお話がありましたが、オーラルフレイルの予防は高齢期になってからでは遅いので、早めに対策をすることが必要だと思います。認知しなければアクションができないので早い時期からのオーラルフレイルに関する具体的な予防の啓発について考えていただけるとよいのではないかと思います。</p> <p>皆様からいただきましたご意見につきまして、事務局から何かございましたらお願いいたします。</p> |
| 事務局 (佐野課長) | <p>皆様からご意見ちょうだいしましてありがとうございました。</p> <p>計画を本当によく見てくださって、市民の皆様のためにいろいろとご意見をちょうだいしたというふうに考えております。</p> <p>片倉委員からいただきました、各事業につきましても、実際来年度からこの計画に基づいて事業推進して参りますので、それぞれの目標に向けて、各事業を進捗して参りたいと考えております。</p> <p>次の計画の様式等はまだ定めておりませんが、食育推進会議で事業進捗を図っていくということになりますので、引き続き委員の方々にご意見を頂戴し進めて参りたいと考えております。</p> <p>関連しまして、佐藤委員からいただきました計画の期間についてですが、指標について年度ごとに出せるものについてはある程度区切りを持ってご報</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>告させていただきたいというふうに考えております。</p> <p>市民意識調査につきましては、いきいき市民健康プランと合わせての調査になっておりますので、すべての項目を報告できるかどうかというところは、いきいき市民健康プランとの関連ということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>エンカル消費につきましては、これから市民の方々も意識していく部分になるかと思っておりますので、より理解を得ていくように考えて参ります。</p> <p>各ご家庭の取り組みのところに参りましても、子どもさんを育てている家庭から、単独世帯、高齢者世帯と様々な家族の形態や、世帯の状況に合わせてそれぞれの市民が食育や自分自身の健康を考えて取り組んでいくということになるかと思っております。こちらの部分については、いきいき市民健康プランにおきましても、食・栄養というところの項目を重点分野に掲げております。今後 PHR というところで、新たな事業として、自分自身の歩数や食事の面、栄養の面なども可能でしたら記録として残して、それを健診などのデータと結びつけて、自分自身の健康に役立てていけるような取り組みを考えているところでございます。</p> <p>大和委員からいただきましたメタボの分析というところが、宮城県と一緒に非常に課題であると考えてお参りして、パーソナルヘルスレコードの取り組みなどをしていく中で分析ができればよいのではないかと事務局としては考えているところでございます。</p> <p>皆様から様々ご意見いただきまして、今日いただいたご意見も、再度検討させていただいて、最終の計画に向けて考えて参ります。どうもありがとうございました。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>皆様から本日いただきましたご意見などをもとに、最終的な文言、表現等につきましては、事務局とこちらで調整させていただきまして、計画の策定をさせていただきたいと存じますが、そのような取り扱いでよろしいでしょうか。</p> <p>ご承認ありがとうございます。</p> |
| 白川委員 | <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議事 (3) 「令和 5 年度食育推進事業実施状況について」でございます。</p> <p>現計画は令和 5 年度で計画期間が終了いたします。平成 23 年度より始まり、「食べる力をみんなでアップ！」の基本目標のもと、取り組みを進めてまいりました。平成 30 年度からは後期計画として、食品ロス削減と、環境部門を新たな推進の柱として加えるなどし、計画を推進してまいりましたが、今年度で本計画は終了となります。</p> <p>それでは、資料 4 と資料 5 に基づき、令和 5 年 11 月末までの状況を各委員の皆様からご報告いただき、意見交換等を行いたいと思っております。</p> <p>新規事業、拡充事業などを中心に、資料の掲載ページ番号などと一緒にご説明いただければと思っております。</p> <p>それではまた席順で、小野委員からお願いできますでしょうか。</p> |
| 小野委員 | <p>仙台市保育所連合会の取り組み、9 ページになります。</p> <p>栄養士の研修などいろいろ日々勉強していますが、具体的な取り組みとして、普段は栄養士と保育士が連携を取りながら食育活動を進めています。保</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>護者には、保育所での食事を知ってもらおう機会として、毎日給食のサンプルを掲示して、サンプルを見ていただくことで、「今日の給食これ食べたんだよ」など、子供たちと一緒に話してもらおう機会を作っています。</p> <p>また年に2回ぐらいですが懇談会を行っていて、その際に、コロナ禍ではできなかったところが多かったと思いますが、コロナ禍があけて、給食の試食やおやつを試食を実施しています。保護者も一緒に味わってもらおうことで、保育所の食事であったり、子供の食事の状況により関心を持ってもらうというねらいで行っています。子供たちも保護者と一緒に食事をする時間がすごく嬉しそうで、たくさん笑顔が見られているので、すごく充実した時間かなというふうに感じています。</p> <p>試食で出したメニューのレシピも準備しているので、レシピをもらって帰るご家庭も多く、食事への理解が少しでも深まって欲しいと思っています。保育所からも、子供たちから人気のあったメニューを保護者にもお知らせしていきたいと思い、レシピを自由に持って帰れるように工夫したりしています。食事が楽しい、おいしい、大切だと思ってもらえるように、今後も引き続き取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>また、小さいうちから、自分の体は自分の食べたもので作られているんだよってということも伝えていけると、より自分の体のことだったり、食の大切さがわかってもらえるのではないかと考えているので、ぜひ引き続き知らせたいと思っています。</p> <p>以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。 続きまして、小山田委員、お願いいたします。</p> |
| 小山田委員 | <p>16ページをご覧ください。</p> <p>みやぎ・環境と暮らし・ネットワークでは、令和5年度は食に関しては二つの事業を行う計画でした。</p> <p>去年の6月に、MELON みやぎ SDGs 環境アドベンチャーということで、仙台メディアテークのオープンスクエアで、ミニ講座と、ブース出展という形態をとりまして、食の部分では、海の魚種が変わっているというようなお話ですとか、あとは三陸で取れる魚についてどんなふうに美味しく食べるかといった話をさせていただいたのと、あとは、産地の近くで旬を食べようということで、せり農家の方にお話をさせていただきました。こちらは親子連れを対象にした内容になっておりまして、延べで合計にはなりますけれども、100名以上の方にご参加いただいております。</p> <p>あとは、仙台農塾ということで、先ほどリーフレットをご覧いただきましたが、2月開催予定です。こちらは夜開催なので、大人の方を対象にしていますが、まずはおいしさを知る、そして楽しくということで、こだわった食材を使った食事を食べながら、さらにその生産者の話を聞くというような内容になっております。今回は名取のせり農家の三浦貴大さんをお招きしまして、地産地消ですとか、旬産旬消をキーワードに、環境との繋がりということで、CO2削減や気候変動という部分もお話いただきながら学べる講座になっています。</p> <p>以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>続きまして、片倉委員、お願いいたします。</p> |
| 片倉委員 | <p>宮城県栄養士会からの説明をさせていただきます。</p> <p>4ページをご覧ください。たくさんありますので、簡潔にポイントだけお話しさせていただきます。</p> <p>1番目、歯と口の健康週間市民のつどいということで、今回いらしている平田先生と一緒に、仙台市さんとコラボをしてやっている事業です。今年度は動画配信ということで、栄養士会では「元気っ子に大切な栄養ってなに？」というテーマで、動画の配信をさせていただいております。</p> <p>続いて、子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会を作ります、ということで、小学生に対する出前授業を11月と12月にさせていただきました。気仙沼の百瀬小学校の6年生33名に朝食の大切さについて授業をさせていただいたのですが、「朝食食べてない子いる？」と33名に聞いたら、たった1人だけ手を挙げて、1週間に1回ぐらいです、ということでした。この百瀬小学校さん、何がすばらしいかという私の授業を聞いた33名の子供たちが、一人一人感想文を書いてそれをスクラップにして、県の担当者に出してくれて、そして、それを栄養士会に届けられたんです。33名の一人一人の食に対する思い、自分が今までこういう生活していた、でも、先生の話聞いて、こういうふうに変えます、とか、私がこの子たちに伝えたいことを全部書いてくれていました。どうしてこの話しをしたかというと、出前授業のようなことは、数はこなせないかもしれませんが、手堅くこうやっていくと、必ず響くし、それを子供たちが家庭に伝えていくので、家庭の取り組みもクリアできるんだなということを感じましたので、そのことを今日はお話ししようかなと思ってきました。</p> <p>その他には「いい日いい汗栄養まつり」ということで、イベントをいたしますけれど、コロナの関係で、今回は仙台市と、宮城県の市町村に生活習慣病予防のリーフレットを配付をしております。</p> <p>それと、仙台市介護予防月間に、元気力アップフェスティバルというのがシルバーセンターで開催されましたが、この時は栄養相談ということで、48名の方の栄養指導をしております。</p> <p>また、栄養ケアステーションにおける栄養指導講演会の講師派遣も、ここで未定となっておりますが、回数はとても多くなっております。</p> <p>高齢者のフレイル予防というところでは、フレイル予防アドバイザー養成の事務局を県から委託されておまして、多職種連携で、高齢者に健康教育をしておまして、仙台市や宮城県内からたくさんオファーをいただいております。これが来年度も続くというような状況でございます。</p> <p>以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、加藤房子委員お願いいたします。</p> |
| 加藤房子委員 | <p>宮城県生協連の取り組みというか、宮城県生協連の会員生協の取り組みが、11ページから記載されています。みやぎ生協はメンバー組合員がいるので、その人たちに対しての学習会ですとか、みやぎ生協、生協あいコープの会員が生産者との繋がり、顔とくらしの見える産直ということで、商品だけではなく生産者がどういうふうに乗っているか、どういう思いで乗っているかということを交流しながら知り、商品を購入するということをしております。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>す。生協あいコープは、さらに一歩進んで、援農活動ということで、あいコープは無農薬、オーガニックで作られている生産者が多いので、100人くらいいらっしゃる組合員が、生産者のもとに出向いて、草取りとか玉ねぎの袋詰めとか、組合自らが生産者を応援するというような取り組みも昨年度から始めております。</p> <p>あと宮城県生協連の会員生協の中に、大学生協もあります。大学生協は、学生委員会があって、学生の方が中心になってやっているのですが、コロナでなかなか集まらない時に、食生活についてアンケートをとり、それを参考にして、オープンキャンパスとかそういった学生が集まる時に、健康講座みたいなアドバイスをするようなことも、大学生自らが行っているということで、若い人も食生活には関心があるというような状況でございます。</p> <p>あとはみやぎ生協、あいコープの活動が何ページにもわたって書いておりますので見ていただければいいのですが、15ページの真ん中、フードバンクの取り組みのところですが、コープフードバンクということで、団体に、商品、賞味期限切れに近いものを寄贈するわけですが、コロナ禍になって、子供食堂とか、そういったところへの寄贈が増えたという状況になっております。</p> <p>あとみやぎ生協の組合員の自主的な取り組みですが、フードドライブということで、これはみやぎ生協が特殊なやり方をとっております、家庭にあるものではなく、お店にいらしたメンバーさんに、お店で購入したものの中から、その地域の食品の要望の高いものを、ピックアップしてそういったものをご購入いただいて、その商品を気持ちで寄贈してもらうというような取り組みをここ何年間かやっておって、昨年あたりから職員もこういった取り組みをやっているということです。コロナになって、ますますこのフードドライブの取り組みが重要度を増しているということで、エシカルに繋がるような取り組みを、みやぎ生協ではますます力を入れているということになっております。</p> <p>あとはお読みいただければと思います。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。 続きまして、木村委員、お願いいたします。</p> |
| 木村委員 | <p>仙台市立幼稚園連合会では、7ページにあります、みやぎ幼稚園とめるへの森幼稚園の取り組みをご紹介します。</p> <p>みやぎ幼稚園では、年長児の夏にお泊まり保育を4年ぶりにやりました。コロナで3年間はできなかったということもありまして、今年はお泊まり保育をやるよと言ったら、すごく子供たちも喜んで、それに向けてというか、食育の体験ということで、ミニキャロットとじゃがいもをととも小さい畑とプランターを使って育てました。収穫の時は子供たちが大喜びで、その時の笑顔が本当に忘れられないんですけども、それを使って、夏にあったお泊まり保育でカレーを作って食べることを体験しました。自分たちで、毎日成長も見ながら水やりをして、五感を使って、においを嗅いだりもしました。トマトも作ったんですけども、トマトってこういう臭いするんだね、と話したりしました。やはり、子供は体験をすることによって、食への興味関心が高まって、そしてそれをみんなで楽しく食べるという経験が大事なのだと思います。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>それから、以前もお話をさせていただきましたが、日々のパンから派遣講師に来ていただいて、パン教室をしました。発酵済みのパンなので、成型する部分を体験して、焼いていただいたのですが、自分たちで作った、手をかけたということで、本当に大喜びの体験でした。</p> <p>そのほかには、やはり日々の給食、それから週に2回のお弁当、お母さんの手づくりのお弁当なのですが、お母さんが作ってくださったお弁当は大体みんな完食というか全部食べられるんですけど、やはり給食は年少さんとかはなかなか難しく、全部食べることが難しいです。それから、お野菜のおひたしとかは、好きな子は好きなんですけど、苦手な子は苦手でなかなか難しいです。それを、今日は一口だけ食べてみよう、というところから始めています。今3学期なんですけど、年少組は3学期から、年中と年長は1学期からやっていますが、給食を全部食べたら、金シールで、残念ながら残してしまった時は赤シールとかで、少しでもたくさん食べてみよう、完食できるようにしようということを目指しながら、日々そういう努力もしております。幼稚園連合会は以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、佐藤委員からは別紙をいただいておりますので、こちらでご説明をお願いいたします。</p> |
| 佐藤委員 | <p>市民公募の佐藤と申します。</p> <p>私個人ではなくて、私が代表を務めております法人 SUGAR という会社で取り組んでいる事業の一部ご紹介させていただきます。</p> <p>企業様より定期健康診断を受けた際のデータや健康保険組合のデータをどのように活用して肥満やメタボリックを改善すればよいか、というお悩みをいただくことが多いです。</p> <p>そういったところで、私どもとしましては、1ページ下の表のように、体脂肪とBMI、ボディ・マス・インデックスを、このように可視化させていただいて、あなたがなりたい体系はどれですか、ということをご提案しております。</p> <p>私としては、ちょっと冗談ですけども、マツコデラックスさんを目指しているという方でしたら、私はそれは止めないですし、その人の価値観ですのでいいと思います。あとは、スーパーマンになりたいというのもいいですし、ただ、どういうふうになりたいのかということが、目で見ないとわからないというところがありますので、あなたはどれが理想ですかということをお伝えした上で、次のページの3枚目、実際の健康診断のデータなどを活用して提案することをデータヘルスといいます。BMI と体脂肪率の結果をお示します。このデータは、700名規模の製造業の事業場のうちの、100～200名程度の女性のもので、実際に集計してみると、隠れ肥満とか、肥満でかつ筋力が少ない方とかが多いという事実を事業場の方々に見ていただくと、自分が所属している企業がまさかこんな結果で、自分が適正じゃないとか、自分はアスリートだと思っていたのに、とか、そのような声が聞かれます。それを目で見させていただいた上で、4ページ目の肥満学会などが推奨している「3ヶ月・3%減量法」ということをお伝えします。どのように、どのくらいの期間でダイエットすればよいかということをお伝えします。事業場の代表の方や、社員の方からご質問いただきますので、摂取カロリーや消費カロリーを具体的にどのく</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>らい削ればよいかということをお示しすると、1日1個、ヨーグレットとかグミ我慢すればこんなに痩せるんだ、とか、1ヶ月で10キロ痩せる「〇〇ザップ」みたいなああいうのがいいと思っていたけど、あれをやったらアイスは止まらないんです、というような声もあって、その理由をお伝えすると、納得されたりします。</p> <p>5枚目の資料に関して、こちらで締めくくらせていただくことが多いのですが、著作権の範囲内でお示ししていますが、エディス・コーナーさんというアメリカの方がいまして、65歳のときまでオフィスワーカーをされて事務職だったのですけれども、このままだと筋力が落ちてフレイルになってしまうということや、お孫さんができて、孫と一緒に筋トレをしたいという夢を持って、65歳からボディビルを始めて、77歳でワールドレコードというギネス記録をとったというような方がいます。</p> <p>このような方をお見せすると、私でもできるということで、ナッジ、ちょっと背中押して、少しやってみるといような行動を促して、例えば、娘に3ヶ月で3%痩せられなかったら3万やるって約束を立てた、など、そういったお声なども頂戴しております。</p> <p>弊社は、体と心を観点としております。心に関して、今回の食育推進会議ではなかったかなと思いますが、例えば長時間労働が続いてしまうと、手短かにファーストフードを食べることによって、うつや心身のストレスなどそういったことが出てくるということを具体的な数値でお見せしております。私は命を縮めるファーストフードと言っていますので、そういったところで気づいていただくというようなことをしております。</p> <p>最後に、仙台市のこのような企業様ご提案していますということや、あとは法人のこのような取り組みで、食育に関わらせていただいているということだけご案内させていただきます。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。年代的に大変勇気づけられるスライドでした。続きまして、武田委員お願いします。</p> |
| 武田委員 | <p>6ページの内容を今年度取り組んで参りました。私は、幸町小学校ですけれども、新型コロナの5類移行に伴って、本校でも給食時間の対面給食が復活してきておりまして、面白いなと思ったのは、対面で食べるのは実は4年生までほぼ経験がなくて、初めは会話が成立しない。対面で食べていいよって言っても、無言で食べていたんですけれども、最近ようやく慣れてきて、楽しそうに給食を食べている姿が見られるようになってきました。</p> <p>またそこにも書かせていただきましたが、栄養教諭、栄養士に関しては、調理実習を伴った研修が可能となりまして、今年度は減塩食をテーマにした研修を行いました。私は検食係として参加したんですけれども、大変おいしい給食となっていました。</p> <p>引き続き、仙台市教育研究会学校給食部会としては、食育の実践並びに給食の充実に向けた資料のアーカイブ化を進めておりまして、2月7日に第2回目の全体会を実施するんですけれども、その資料等もアーカイブとして会員がいつでも閲覧できるような形をとっていきたいというふうに考えています。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>続きまして、平田委員、お願いいたします。</p> |
| 平田委員 | <p>仙台歯科医師会の平田です。</p> <p>2ページと、3ページの取り組みになります。先ほど片倉委員からもお話ございました、6月の歯と口の健康週間についてです。市民のつどいはWeb開催いたしまして、栄養士会さんからも情報提供していただきましたし、14団体でやらせていただいている取り組みなので、各団体の方々から色々な歯と口の健康に対する動画をご提供いただいて、市民の方々に発信することができました。</p> <p>令和6年度からはいよいよ実開催ということになりますので、ここにいらっしゃいます栄養士会さん、あと保育所連合会さん、幼稚園連合会さん。また一緒にできればいいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>3ページになりますが、歯と口の健康について、今まではむし歯や歯周病というところをしていたんですけれども、やはり噛むことが重要ということで、噛むことの育成から、維持、低下防止、その辺もしっかりやっていかなければいけないということで、今年取り組めたのは、3ページの①-E-1の下に書いてあります、養護教諭の先生向けに、国立モンゴル医学科学大学の岡崎先生にお願いして、「～口の中はふしぎがいっぱい～こどもの口は履歴書」ということで、幼稚園、保育所、小学校、中学校の子どもたちの口の中がどのようにして発育していくかというところの情報提供をさせていただきました。これは健康教育課の方々のご協力もありまして、チラシを学校で配付することもできまして、栄養教諭の先生方も多数参加していただいたことは非常にありがたかったことです。</p> <p>それと、毎年12月あたりにやっておりますが、歯科保健研修会を保育士さん向けにやらせていただいております。そこでも、虫歯の部分は当然情報提供していますが、今回は噛むことですね、機能に対する育成という部分の情報を多めに提供させていただきました。小さい頃からどういうふうになればしっかり食べられるような口になるのかという部分をお伝えしまして、例えば、あいうべ体操とか、そういうようなことも情報提供していただきました。感想をいただきまして、幼稚園保育所でもこういうふうな取り組みができればいいなというご意見をいただいて非常にありがたかったところです。虫歯、歯周病も当然そうですけれども、食べる力を育てるための取り組みという部分を各団体の方々と協力しながら、次年度以降は積極的に取り組んでいきたいと思っております。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、古林委員には資料5の食育ロゴマーク活用の実績も上げていただいておりますので、ご紹介をお願いいたします。その他にも取り組みがありましたらあわせてご紹介いただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。</p> |
| 古林委員 | <p>はい。私の方からは、食育推進ロゴマーク活用状況についてご報告をさせていただきます。</p> <p>昨年度に引き続きまして、私の勤務先の「ばるけ通信」を年4回発行しているのですが、食育の記事の部分にロゴマークを掲載させていただきました。発行部数は900部、配付先としましては、利用者の皆さん、会員の方、その他関係先学校等にも、お配りをしております。活用状況について以上で</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>す。</p> <p>私事で恐縮ですが、普段取り組んでおります食育について、少しお話をさせていただきますと思います。</p> <p>私は障害を持つ子供の放課後の余暇活動を支援する放課後等デイサービス、アフタースクールぱるけというところで管理栄養士として勤務しております。子供たちは、学校終わってから施設に来まして、放課後を過ごします。そこで毎日おやつを提供しております。長期休みには昼食づくりなども行っております。放課後のおやつは、大人が手づくりをしたり、子供自身が調理をするおやつもあります。調理活動では、自分でつくれた、できたを大切にしています。行事食ですとか、郷土料理、また季節に合わせて、できるだけ地元の食材を取り入れて提供しております。</p> <p>例えば芋煮ですとか、自分で握るおにぎりなんかは、とにかく子供たちはよく食べますし、人気のおやつです。毎年行うリクエストおやつというのがあるのですが、そこで1位、2位を争う王道のおやつです。地味かもしれないのですが、それが1位、2位を取るんです。</p> <p>子供にとって食べ慣れたものというのはやはり安心して繋がるのかなというふうに思います。地元の食文化ですとか、あとお米を使ったおやつというのは大事にしていきたいなと思っています。</p> <p>おやつに関しては、買い物活動というのも行っています。買い物活動は、食べたいものを自分で選ぶことや、また金銭管理ですとか、また地域との関わり、例えば大きな袋菓子を買ったときは、食べられる量を自分で調整して食べるといった様々な経験をする場になっています。</p> <p>あと長期休みの調理活動では、子供一人一人の得意なところを生かして協力して作っています。高学年の方なんかは包丁は苦手でも、ピーラーやスライサーを使えば切ることができます。</p> <p>他にも、材料を入れて電子レンジでチンすればでき上がる袋とか、今はすぐれた調理器具、道具がたくさんあって進化しています。あと、カット野菜もいろいろな料理に合わせたものもたくさん出ています。そのような便利なものを使うことで「できる」が広がります。</p> <p>もっと地元の新鮮なカット野菜があったらいいなと思います。小さく宮城県産とかって書いてあるのですが、もっと大々的にこうアピールしているようなカット野菜があるといいな、思ったりもしています。</p> <p>私たち大人が、苦手なところにちょっとお手伝いをして見守ることで、子供たちが食べたいものが自分で「作れた」とか「楽しい」といった経験をたくさんできるように、食育を続けていきたいなというふうに思っています。</p> <p>障害があるですとか、経済的に厳しいなど、なかなか表には出にくい方々も含めて、一人一人に届く食育ができる仙台になったらいいなというふうに思っています。そのためには、仙台市の力だけではなくて、市民の力もやっぱり必要なのだらうと思います。それを引き出し、つなげることができるのが自治体である仙台市なのかなというふうに思います。</p> <p>私からは以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、大和委員お願いいたします。</p> |
| 大和委員 | <p>1ページでございますが、仙台市医師会では学校健診に校医として携わっ</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>ておりますので、学校健診で引っかかった肥満の児童などを専門に送りまして、そこで食事の改善等の指導をしております。</p> <p>それから、コロナ禍で特定基礎健診の結果は郵送になっていたのですが、今年度からまた、直接受診していただいて、結果を説明するといったところで、具体的には、例えば減塩指導などを直接しております。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、神田委員お願いいたします。</p> |
| 神田委員 | <p>1つの取り組みですが、18ページになります。</p> <p>地域の周りに住んでいらっしゃる未就学児、乳幼児を対象にした事業になりますが、子ども教育学科の学生、人間発達学科の学生が保育士または幼稚園教諭を目指しておりますので、その子たちをまずトレーニングして、その子たちに子供たちの食育をさせる、そしてその間に保護者に私が食育をするということをしております。今回は1回だけだったんですが、その練習がかなり大変だなというのが、毎年のように思うことです。私のところだけかもしれませんが、学生が幼くなっているんで、そのトレーニングに時間がかかったんですが、ここに書いてありますように、この前にインフルエンザがすごく流行りまして、当日の参加者が、指定の人数に達しなかったため、なくなってしまったんです。学生たちが思いの外落胆をしておりました。私にたくさん怒られて泣いていた子もいたんですけど、そんなことをしても、練習したことができなかったことをすごく泣いていて、その次を設けてあげられなかったというのが、私が一番残念なことでした。来年は2度ぐらい計画していきたいと思います。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>最後に私の方から宮城大学の取り組みについてご紹介させていただきます。</p> <p>大学生は、朝食欠食や栄養バランスのよい食事を食べる頻度が少ないなど問題点がございまして、担当している食育関連の授業の中で、学生自身の食生活を見直し、改善することを促しております。</p> <p>今年度は、大学がある太白区の保健福祉センター様から、仙台市の「仙台伊達なキッチン-だてきち」と、太白区の「(モーニングベジタブル、略して)モーベジ」のSNS情報が掲載されているチラシ等をいただきまして、授業の中で説明しながら、配付させていただきました。また、ロゴファイルも頂戴しましたので、デザインを作った学生さんの思いを伝えつつ配付させていただきました。ロゴマークの活用として資料5の方にも掲載させていただいております。</p> <p>2つ目として、若い世代はストレスを感じやすい状況にあるということから、ストレスが多いと、例えば食欲不振や過食など、食行動にも影響が及ぶ場合があります、栄養バランスがさらに悪化してしまうことが考えられます。メンタルヘルスの維持に必要な栄養素が十分に取れない場合に、心身の健康がさらに悪化する可能性があると考えられ、そこで20代の男女を対象に、ストレスと食生活に関するアンケート調査を行っております、その結果を踏まえて、大学生、若い世代への食育や啓発に役立てようと思っております。結果は現在解析しているところです。以上となります。</p> |
| 白川会長 | <p>続きまして、仙台市の取り組みにつきまして、ご報告をお願いします。</p> |

| | |
|------------------|---|
| | まず、子ども若者局からお願いいたします。 |
| 白山委員 | <p>21 ページからになります。時間も押しているのので1点だけ。</p> <p>22 ページの下の方に、離乳食教室の中で、せんだい Tube・太白区チャンネルのことを書いておりますが、離乳食の動画だけではなくて、会長さんのお力添えももしかしたらあるのかなと思いつつ今お聞きをしておりましたが、太白区チャンネルの野菜の動画がなかなかよく見られていて、私が一番見ないだろうなと思っていた、ピーマンの肉詰め料理の動画が実は一番見られていたということです。</p> <p>そういうこともありまして、せっかくこのような形でやっておりますので、太白区だけの話ではなく、全区市に展開していきたいなと思っております。以上でございます。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、経済局お願いいたします。</p> |
| 柳津委員 | <p>経済局でございます。私も手短になります。経済局の中で、主に農林部というところを中心に、地産地消の取り組みなどはかなり長くやってきたところでございます。</p> <p>それから26ページの5番目の米粉ですが、小麦のアレルギーという話もあって、米粉の消費を促進していかなくてはいけないということで、来年度は少しギアを入れてやっていきたいと考えております。</p> <p>それから27ページのレクリエーション農園をやってきたということと、あとは、来年度の目玉として、環境保全米みたいなものの促進であるとかそういったところにも力入れていこうとしているところでございます。</p> <p>以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、教育局、お願いいたします。</p> |
| 渋谷総務企画部長（福田委員代理） | <p>はい、教育局です。29ページから30ページに記載がございますけれども、1つだけご紹介させていただきたいと思っております。</p> <p>29ページの下から3つ目、市民対象の食育に関する講演会の実施です。「仙台っ子健康セミナー」というものでして、子供たちの体力向上を目指す運動習慣、心身ともに健康的な生活習慣、望ましい食習慣の確立を図るため、学校教職員や保護者、一般市民を対象とした研修会を、例年8月上旬に実施してございます。今年度は、スポーツ現場における栄養サポートの実践から、バランスよく食べることや、朝食の重要性について、ベガルタ仙台の管理栄養士の方を招き、ご講演をいただきました。</p> <p>参加者からは、成長期の栄養管理の方法について教えていただき参考になった、実際の選手のメニューなど具体的な話を聞くことができ勉強になったなど、好評価であったことから、引き続き、食育に対する興味関心を高め、健康的な食習慣づくりにつなげるよう、本研修会を実施して参りたいと考えてございます。以上でございます。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>健康福祉局、お願いいたします。</p> |
| 加藤邦治委員 | <p>はい。健康福祉局から数点お話をしたいと思っております。他局の事業ということでまず20ページになります。</p> <p>市民局の事業になります。例年、消費生活センターで年に1回食品に関</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>する講座を開催しております、昨年 10 月には食品表示に関する講座を実施したということでした。</p> <p>続きまして、健康福祉局の取り組みでございます。委員の皆様から大学生というキーワードが随分出てきたかと思いますが、33 ページの 1 番上、大学生の食育プロジェクトということで、我々も大学生とタッグを組みまして、管理栄養士養成課程がある大学の先生方にご協力をいただいてメンバーを募集いたしました。7 名の参加で、現在、第 3 回、4 回と進んでいるところでございます。今年度は、インスタレシピコンテストの開催ということで、学生にも参加いただいて今 13 品の応募があるようございますので、今後試作、それから今年度のまとめということをしていく予定でございます。</p> <p>それから、32 ページに戻っていただきまして、6 番目子育てイベントでの啓発ということで、こども若者局で実施した「子育てフェスタ」においてブースを出しまして、ベジメータを使ったり、体験型のブースを作ったということでございます。こちらは青葉区の保健福祉センターが実施したものでございます。</p> <p>最後に 44 ページをご覧ください。食品衛生情報の提供という観点でのお話でございます。上から 3 番目に、ホームページ等による食品衛生情報の提供ということがございます。見て気持ちのいいものではないのかもしれませんが、今年食中毒で多いのはアニサキスでございます、せんだい Tube の中では、スルメイカを捌いてみてアニサキスがいるところの映像が見られますので、興味のある方はぜひご覧いただければと思っております。</p> <p>様々な視点から食育に関する事業を展開しているところでございます。以上でございます。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>この食品衛生情報を大学の授業等でも活用させていただいております。ありがとうございます。</p> <p>時間が遅くなって大変恐縮なのですが、次にオブザーバーとして参加いただいております、環境局からご説明をお願いいたします。</p> |
| 筒井理事 | <p>環境局でございます。資料の 25 ページになります。</p> <p>環境局は食品ロスという視点で事業をさせていただいております。</p> <p>2 番ですが、今年度、食品ロスガイドブックを改定いたしまして、これに関連する講座を 3 回実施いたしました。冷蔵庫とか冷凍庫の上手な活用や、農家レストランをお伺いしまして、地域の農業に触れる機会ですとか、いくつかのテーマでやったのですが、延べ 175 名、アーカイブも 69 名ということで、非常にたくさんの申し込みをいただきました。4 月にたくさん食品の値段が上がったということも少し関係しているのかなと思っております、皆さんの上手に食に向き合うところの意識が高かったのかなというふうにも思っています。</p> <p>同じようにフードドライブについてですが、回収量が 12 月末で 16 トンぐらいで順調に集まっていますのですが、昨年と比べると若干少なくなっていて、はっきりはわかりませんが、この辺りもあまり無駄なものは買わないというようになってきているのかなと感じております。</p> <p>それからこの資料とは外れますけれども、今回、食育推進計画の第 3 期に、食と脱炭素ということをしっかり書き込んでいただきましたけれども、</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>私どもの方で地球温暖化対策推進計画というものも今年改定をしております、地産地消とその旬産旬消が、脱炭素の面からも非常に効果的であるということ発信していくということと、このような取り組みの促進を図りますということを書き込ませていただいております、3月に改定を予定しているところです。</p> <p>私からは以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>様々な取り組みをご紹介いただきましたが、ここで事務局からご紹介したい取り組みがあるとのことですので、お願いいたします。</p> |
| 事務局 (佐野課長) | <p>時間のない中で大変恐縮でございます。資料6の方をご覧ください。</p> <p>令和5年度市政だよりせんだいレシピ帖をまとめたものでございます。令和5年度はこども若者局、環境局、経済局、教育局、健康福祉局でリレー方式で掲載させていただいております。</p> <p>2月号は、農政企画課のセリのさっぱり和サラダを紹介しておりますので、ご覧いただければと思います。以上です。</p> |
| 白川会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、皆様からお話いただいた事業内容についてご意見ご質問等ございますでしょうか。後ほどご連絡いただいてもよろしいので、何かありましたらお願いいたします。</p> <p>皆様より貴重なご報告をいただきました。来年度から第3期計画がスタートとなりますので、新たな推進方針に基づき、すべてのライフステージにおいて、よりよい未来を次世代につなぐ「未来へつなげる食育」のコンセプトでさらに食育を推進していただきたいと思います。</p> <p>また、次年度は、委員の改選などもございますが、これからも関係者の皆様の協力・連携を大切に、より一層の食育推進に努めていただければと存じます。</p> <p>それでは議事4「その他」ですが、皆様から何かございますでしょうか。ないようですので、議事を終了させていただきます。</p> <p>今年度は計画の策定年度で、委員の皆様にはお忙しい中お集まりいただきまして、大変ありがとうございました。おかげさまで本日、最終案をまとめることができましたことを改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは事務局に進行をお戻しいたします。</p> |
| 進行 | <p>委員の皆様、長時間に渡るご議論ありがとうございました。</p> <p>会議のご発言のほかに、ご意見等ございましたら、本日お配りしております、別紙1「仙台市食育推進計画第3期最終案に係る意見シート」において、2月6日火曜日までに事務局あて、ご回答をお願いいたします。またメール等により直接いただいても構いません。</p> <p>最後に事務連絡として2点お伝えいたします。</p> <p>まず1点目ですが、計画策定のスケジュールについてご説明いたします。本日いただいたご意見を踏まえまして、事務局と会長とで調整し、その後第3期計画を確定させます。また、こちらをもとに内容をコンパクトにまとめた概要版につきましても改めて作成いたします。</p> <p>来月3月に第3期計画を策定し、4月より第3期計画がスタートいたしま</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>す。新計画の枠組みで、例年同様食育の取り組みの実績、計画の紹介をお願いしたいと思っております。</p> <p>最後に、委員の改選についてです。</p> <p>冒頭の白川会長からのご挨拶にもありました通り、委員の皆様の委嘱期間が本年6月に満了いたしますので、現メンバーでの最後の会議となります。食育事業に関すること、また次期食育計画策定に関しまして、多大なご協力等賜り誠にありがとうございました。来年度の初回会議より、改選後委員での開催となりますが、改正の手続きにつきましては、後日、事務局よりご連絡させていただきますのでご承知願います。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第3回仙台食育推進会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。</p> |
|--|--|

令和 6年 月 日

署名